



令和4年10月 川内市医師会在宅医療支援センター発行
 住所…薩摩川内市大小路町70番26号
 TEL…0996-22-4021
 FAX…0996-22-8114
 H P…<https://iisennet.jp>

QRコードより
 いいせんネット
 ホームページに
 アクセスできます

平成31年2月に、いいせん便り発行を開始しました。各協議会の皆様にご協力いただき、このたび第12号を発行することができました。
 バックナンバー(過去発行分)を「いいせんネットホームページ」で見ることができますので、よろしければご覧ください。

川内市医師会は、薩摩川内市と受託契約を結び、在宅医療推進事業に取り組んでいます。在宅で医療や介護が必要になっても在宅医療を受けながら最期まで自分らしい生活をする「在宅医療」という選択肢を知っていただくために、在宅医療支援センターの活動や医療・介護職の取り組み・在宅で役に立つ豆知識などの情報を発信しています。

活動報告 第1回 いいせんネット研修会 (7月6日開催)

「地域の認知症のひとを支えるために」 **参加者：96名**

講演1：社会との共生を目指した認知症ケア
 講師：社会医療法人卓翔会 市比野記念病院 理事長 黒田篤先生

講演2：薩摩川内市認知症初期集中支援事業の取り組みについて
 講師：薩摩川内市高齢・介護福祉課 立宅広奈氏

参加者の感想 「認知症疑いのある人の車の運転や社会参加の方法について知り、今後の利用者への提案の幅が広がりました！」



川薩地区合同企画 現場から学ぶ感染症対策研修会 (8月5日開催)

講演1：新型コロナウイルス感染症対策のポイント **参加者：83名**

講師：クオラリハビリテーション病院 長倉 周作氏

講演2：新型コロナウイルス感染症発生時の初動対応
 講師：川内市医師会立市民病院 中野 智子氏

講演3：個人防護服の正しい着脱方法(実技含む)
 講師：薩摩郡医師会病院 久保田 祥子氏

参加者の感想 「ウイルスを持ち込まないことが一番だが、広げないことも同じくらい重要だと感じた。」「ゾーニングや個人防護服の着脱実技を現場でも活かしていきたい」

お昼のミニ勉強会 (7月20日、8月10日開催)

内容：お口の機能と全身への影響、高齢者によくあるお口のトラブル、アセスメントに役立つお口事情
 講師：川内市医師会在宅医療支援センター 歯科衛生士 林 **参加者合計：29名**

参加者の感想 「普段の面接時、あまりお口の事まで詳しく聞いていなかったと思います。意識して聞き取りしたいと思った。」

令和4年度 薩摩川内市在宅医療・介護市民フォーラムを開催いたします！

ご参加ください

テーマ：想いを届け・つなげる人生会議
 ～自分の想い、大切な人へ伝えていきますか～

日時：2022年10月22日(土) 14:00～16:00
 会場：薩摩川内市国際交流センター
 申込方法：電話またはFAX(チラシ裏面が申込用紙)
 詳しくは、いいせんネットホームページよりご確認を！

※医療介護関係者に限りYouTube生配信(限定公開)も行います。(要申込み)



おしらせ 訪問歯科診療申込書の変更について

この度、鹿児島県歯科医師会が作成した、訪問歯科診療申込書の様式に変更がありました。川内市医師会在宅医療支援センターに訪問歯科診療を申込まれる場合は下記の書類「お口いきいき診療連携システム(訪問歯科診療)様式1」に記入して申込みを行って下さい。

必要書類：「お口いきいき診療連携システム(訪問歯科診療)申込書 様式1」計1枚
 (これまでは、「お口のチェックシート2」も提出いただきましたが、今後は不要です。)

申込方法：FAXまたはバイタルリンク個人メール
 在宅医療支援センターのメールアドレスにつきましては、電話(0996-22-4021)にて直接お問い合わせください。

「ダウンロード方法」
<https://iisennet.jp/>

いいせんネットホームページの資料ダウンロードのページよりダウンロード可能です。



職員向け出前講座をお受けします

入所者様や利用者様のお口のケアについて、お困りではありませんか？
 当センターの歯科衛生士が、無料で出前講座に参ります。
 【内容例】・口腔ケアの基礎知識 ・義歯のお手入れ方法 ・毎日の口腔ケア ・洗浄剤の選び方
 ※その他相談に応じます。

冬場に多発！ 『ヒートショック』に注意しましょう！！

これからだんだん寒くなってきます。冬の寒い日のお風呂は気持ちの良いものですが入浴中に亡くなる方は全国で1万人以上いると推定されています。その原因の多くはヒートショックである可能性があります。**急激な温度変化が血管に負担を与えることを「ヒートショック」と呼び、脳内出血や心筋梗塞、脳梗塞の引き金となります。**特に血圧の高い方や高齢者は気をつけなければなりません。

冬場の入浴の場合、暖かい居間から寒い脱衣所、寒い脱衣所から熱いお風呂に浸かるという一連の動きが体の血管に負担をかけます。寒い脱衣所では血管は縮んで血圧が上がり、血流の変化でコレステロールなどの成分が血液中に飛び出し血管をふさいでしまうことで心筋梗塞や脳卒中を引き起こす引き金になると言われています。またお湯に入ると血管が広がって急激に血圧下がります。めまいやふらつきにより高齢者の場合、転倒や溺死につながることもあります。

=ヒートショックを防ぐには、『温度差をなくす』ことを意識しましょう！=

入浴のとき 暖房機で脱衣所も浴室も温めておきましょう。
 浴室に暖房機がない場合、シャワーでお湯をためると蒸気で浴室内が温まります。高齢者は他の家族の後に入浴すれば浴室は温まっているので効果が期待できます。手や足など心臓から遠い場所に向け湯をして体を慣れさせてから38～40度のぬるめのお湯にゆっくりと浸かりましょう。

夜中のトイレ 暖かい布団を抜け出して寒いトイレに行くときにもヒートショックが起こる可能性があります。暖房便座やトイレ用の暖房機を使ったりして寒暖差をなるべくなくすよう心がけましょう。

